

第31回 みんなで語ろう！ ～いなむら市長とともに 車座集会～

< フリートーク型 > 対話録概要版

と き	令和元年5月23日（木） 午前10時～11時30分
と ころ	尼崎市中央北生涯学習プラザ 2階学習室 （東難波町2-14-1）
参加者等	参加者 22人、市長ほか関係者 10人 計32人

1 車座集会の概要及び本日の進行スケジュールについて説明（職員）

2 市長からの説明

- ・尼崎市は他都市に比べて借金が多いというのが財政上の課題ではあるが、今は水面から顔が出て、ちょっと呼吸ができるようになった状態。それをしっかりと計画的に返済しながら、今後に向けての必要な投資との両立・バランスを図りながら進めている。

まだまだ手を緩める段階ではないが、赤字を出さない予算が組めるようにまで回復をしてきたことは、これまでの取組みがしっかりと成果として表れているということである。

「平成31年向け 施策間連携ツール」を見ながら説明

- ・昨年9年ぶりに人口が増加。生まれてくる赤ちゃんより亡くなる方が多いという自然減の状況ではあるが、それを上回る転入増があり結果的に人口増となった。ただ、子育て世代の転出が少し多いため、重点的に取り組みを進めたいと考えている。
- ・「本当に住みやすい街関西でNo.1」という住宅ローン会社のランキングで1位をいただいたことで、まだ住んでいない方には住みたいと思っていただける街に、住んでいる方には住み続けたいと思っていただける街にしていきたいと考えている。

3 市民と市長との対話

今回は、様々な分野の意見が出たので、項目ごとにまとめて掲載

【学校、教育問題について】

- ・通学路に安全安心なまちづくりの観点から警察官に立ってもらいたい。
- ・教育問題において、学業成績のみで人間の総合評価をするという考え方を市長がお持ちと聞いたが、もっと、人間性、社会性、それから状況判断できるような人間を育てていくことが大切だと思う。⇒全くの誤解。考え方は全く同じ。
- ・西宮市は中学校まで給食がある。子育て世代の親は弁当作りなど大変なので、ぜひ考えてほしい。⇒中学校給食については、令和4年度の開始を目指して準備中。
- ・中学校入学式で驚いたが、茶色い髪の毛をした子を校門でチェックし注意していた。持って生まれた髪なのに注意を受けることはないと思う。また、宿泊学習の説明会の時も女子の下着の色まで注意されたが、中学生の一番大事な時期にこんなことはあってはならないのではないか。

一方、学校の部活動のガイドラインでは、最終下校時間が7時とあるのにいつも7時20分頃下校している。せっかく定めたガイドラインを守らず、生徒に人権侵害とも言えるような発言をしている。生徒を軽視しているように感じる。

- ・ひと咲きタワーに研究所ができたが、何をしているのか、職員だけなのか。
尼崎も色々な教育現場で問題が起こっているけれども、それに対して研究所は何か言うのか。税金を投入して作った研究所は大学みたいなものなのか。
⇒市尼の件などいろいろな問題に直接対応するのは、教育委員会事務局である。研究所は、長期的なデータを蓄積していくことが任務である。教育はいうまでもなく短期間で効果が表れるものではない。いつ効果が表れるかもわからない。学力の点数は数字で表しやすいが、その子が身につけた社会力や表現力等の非認知能力については意識的な研究をしていかなないとわからない。急激に学力が上がった一方で社会力が下がっているという問題意識を持っているのでこの研究所を作った。短期的な成果とはならないが、教育の充実に向けては必要な取り組みだと確信している。
- ・今の先生は、どこまでしていいのか、どれをやってはいけないかわからず自分の感性だけで行動する人が多いと感じる。
- ・市尼の問題では、あれだけの人数が周りにいて携帯も持っていただろうに、誰も通報していない。5日間、子どもたちは平気だったのか。怖くて言えなかったとしたら、自分がレギュラーを外されるのが怖いのか。行動できない子を15、6年間育ててきたことになる。

★市尼の問題については、まだ調査中であるが、あの時は練習試合をしていたので全員がつぶさに見ていたわけではないと聞いている。今後も継続的に調べていく。

★学校の部活動ガイドラインの運用については、教育委員会に問題意識を伝えておく。

【尼崎城に関して】

- ・ボランティアをしており、尼崎城ができたので友人たちにPRしているが、友人が来た時にタクシーに乗ったら運転手が、「よくこんなちんけなところにきたなあ」と発言したのに驚いた。官民一体となって尼崎市を盛り上げないといけないのでは。
⇒すぐに、観光協会及びタクシー協会に伝えておく。
- ・尼崎にはキャラクターがたくさんあるが、お城を盛り上げたいので歌を作ってはどうか。
⇒尼崎の歌はすでに色々あり、100周年の時に作った「あまがすき」の歌詞の中に寺町も入っている。
- ・尼崎城は今年の売りでもあるし、PRしていく上でも核になると思うが、阪神尼崎駅からの行き方がわかりにくい。バス停から行くとわからないので、看板を手作りでもいいから設置してほしい。
- ・尼崎城盛り上げ隊に関係しているものだが、イベントをするにはどこに許可をいただいたらいいのか、どれぐらいお金がかかるのか教えてほしい。
⇒申し込みは市の経済部でもいいし、開明庁舎にある観光局でもいい。使用料については、イベントの中身によって変わるので、問い合わせしてほしい。
- ・お城が好きで撮影もしている。市内の方も市外の方も尼崎城を見たいと来られる。尼崎市市内には13もの駅がある。そこで、「お城行き」というバス停に表示があったり、この時間であればお城行のバスが確実に出ますよといったアクセスしやすいようにすればお城まで来やすくなる。
- ・お城に来て、寺町を見て、商店街で美味しい食事をして終わり。市内には観光スポットが東西南北にたくさんあるのもったいない。
- ・神戸市にあるループバスのようなものを作ればよいのではないか。
- ・お城のマスコットはないのか。
⇒市としては何も決まっていない。いろいろと意見を聴きたいと思う。

★お城の完成と同時に全部が完成しておらず、少しずつ、サインや看板を増やしていこうとしているところである。お城の周辺だけでなく、農業公園や近松公園などにも足を延ばしてもらえるように工夫していきたいと思っている。

【災害への対応】

- ・最近電柱に避難場所の看板が設置されている。しかし場所の名称のみで避難場所の字も小さく一番下に書かれている字も見にくい。もう少し大きくしてほしいのと、避難場所までの距離を書いてほしい。
⇒今付けたばかりですぐに付け替えることはできないが、防災訓練の時にでも、普段日本語を使っていない外国人にモニターの的に参加してもらうなど、その表示でどの程度わかるのかを検証して更なる改善に取り組んでいきたい。
- ・自然災害はいつ起こるかわからない。それなのに、郊外の職員が多いから来るのに時間がかかる。
- ・命に関わることはきちんとしてほしい。阪神淡路大震災の時は、みんな避難して職員の人もたくさんいたので助け合っていた。去年の停電時も近所で助け合った。けれども、職員はいないし、情報も出さないし、南海トラフ地震が来たら今のようなレベルでは全員死ぬのではないかと思う。
⇒昨年の台風被害の後に多くの課題が出ており、情報をどう伝達していくか、要支援の方へのサポートを具体的にどうやっていくかについて、地域の皆さんと一緒に検討を進めていく。

【尼崎市職員について】

- ・電話の接遇態度が悪い。研修していると聞くが電話の受け答えが全然なっていない。上から目線で話すし、部長などの上司とも会わせてもらえない。
- ・職員は市外から来ている人が多いけど、尼崎市民より態度が悪い人が多い。尼崎市民は市に対して愛着を持っているからあんまりひどいことを言わないけど、言葉態度の悪い人が多い。
- ・最近はだいぶ良くなった。確かに悪い人もいるがそんなに悪くない。もう少し温かい目でみてやったらいいのではないか。
- ・「私にはわからないのでどこどこへ行ってください」というのではなく「わかりました。では一緒に行きましようか」という感覚がちょっと足りないと思う。
- ・窓口に行き番号札を取って待っていると奥にたくさんの人（職員）がいる。窓口が1から10までであると10人対応してくれると市民は思う。
⇒市民課の混雑ぶりは問題であると認識している。

★職員の接遇については、心からお詫び申し上げる。いろいろと教えていただいたので、しっかりと受け止めて、粘り強く取り組んで行く。

【その他の意見】

- ・地区会館や公民館に行ってみてわかったが、いわゆるカルチャーセンターでは色々やっているが、特に老人福祉センターはあちこちガラ空き。老人ホームを作ればよいのではと思った。
⇒今、市内の施設の在り方については見直しを図っているところである。
(ファシリティマネジメント)
- ・図書館が車でいけないようになっており非常に驚いている。みんなが利用しやすいように、バリア

フリー化をするなどして図書館の整備を充実させてほしい。

- ・母が認知症でずっと介護をしており、2010年頃から継続して医療サービスを受けている。園田や大庄は元々連携ができていいるから認知症になっても安心して暮らせると聞いたが、本庁地区では連帯がありそうでない。いろいろと異なる点があるのでまとめた資料を渡したい。
⇒これはしっかり見て対応したいと考える。
- ・カリカエ公園で清掃をしているが吸い殻がたくさん落ちている。禁煙マナーについて、どういう取り締まりができるのか教えてほしい。
- ・中央商店街では自転車に乗ったまま走っている人、歩きたばこをしている人、1番街と2番街の間の信号を守っていない人などがいる。そういう人に一言言えるかといえば言えない。去年自転車とぶつかってけがをしたから自転車に対する恐怖感もある。ボランティアの方が「自転車から降りましょうね」と優しく言ってほしい。
- ・情報公開というのはどれほどしているのか。尼崎市で公開しているのは公文書。市民が知りたいのは、我々が納めた税金が公平に使われているかどうかということ。例えば、津波が来て私が住んでいる木造住宅は流されるが、我々が納めた税金で改築された市営住宅に安い賃金で入っている人は助かる。これは不公平ではないか。この部屋（市営住宅）にどれぐらいのお金がかかっているか聞いたら資料はないと言われた。
⇒今の情報公開の話は、隠してはいないと思うが、公文書にはなる。
- ・歩道に大きな街路樹があり松葉杖が当たったりしてケガをするので撤去してほしい。また、歩道と車道を上がり降りするときの勾配がきつくて、松葉杖も車椅子を押すヘルパーさんも大変である。
- ・高槻から尼崎に来て、なんと児童公園が多いことかと思った。高齢者がくつろげる場所、子どもが楽しく遊べる場所が必要なので、もう少し明るい公園にしてほしい。
- ・尼崎に来て介護の仕事をしたくて職を探したが、年齢で断られた。その時は57歳。今は伊丹の介護老人福祉センターで働いているが、介護の仕事は人手不足で、職員は全員疲弊している。70歳まで働かないといけない時代と言われているのに、年齢的なもので差別してほしくない。
- ・車座集会で出た話題についてPDCAを回すとともに、意見についての結果を市報に掲載してほしい。
- ・今日も言い足りなかったことがあるので、提案専用のメール、ファックスなどを設けてほしい。尼崎をよくする提案を、手間やお金をかけずに募られてはどうか。
⇒「まちづくり提案箱」というフォームがあるので、市のホームページを見ていただきたい。入力フォームから届いたものは、市長もすぐに見てどんな意見が来たかを把握している。担当がすぐに見て所管課へ回答を依頼するので、基本的には1週間から2週間で本人に回答されるようになっている。（中身によっては時間を要するものもある。）
秘書室ではなく、「まちづくり提案箱」という事業を担当している部署がある。
- ・白井市長の時は車座集会の回数が多かったのに、なぜ減ったのか。
⇒今回のフリートーク型だけでなく、テーマ型やターゲット型など方法を変えて実施している。
- ・教育長の車座集会というのではないのか。
⇒一度検討してみる。

本日は、たくさんの方に参加していただき、貴重な意見や課題など多くのお話が聞けて良かった。まだまだ言い足りない方もいると思うが、その点はアンケートにも書いてほしい。
ありがとうございました。

以上